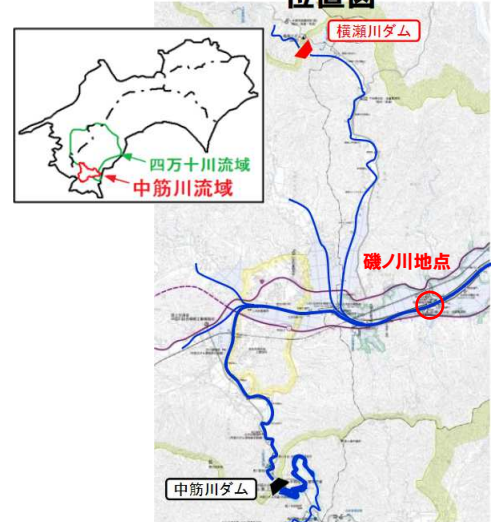


平成27年9月 洪水(前線)による出水状況 ～中筋川ダムにより河川水位を低減～

105mm(時間最大75mm)の雨

中筋川ダム上流域において、9月6日2時～9月6日18時にかけて **累計約105mm(時間最大75mm)**の降雨となりました。

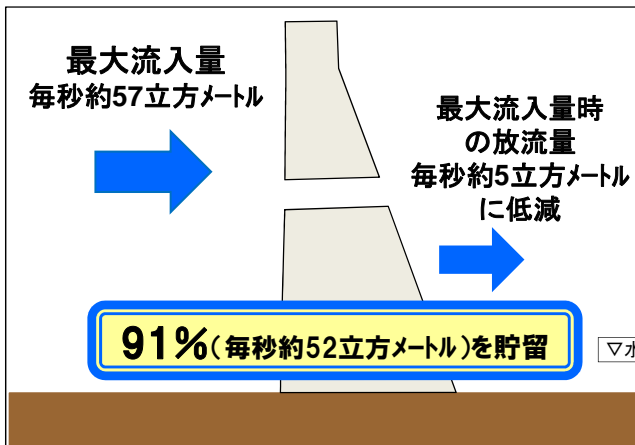
位置図



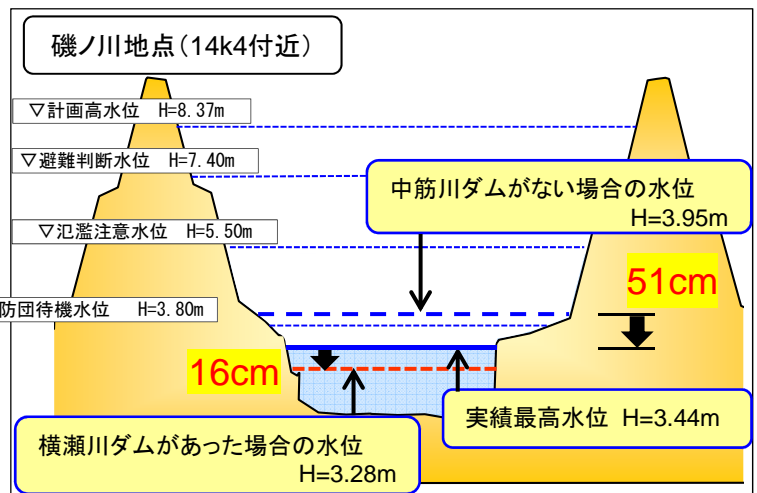
中筋川ダムにより91%を貯留

中筋川ダムへの最大流入量毎秒約**57立方メートル**の**91%を貯留**し、ダムからの放流量を毎秒約5立方メートルに低減しました。

この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分の1地形図を複製したもの(承認番号 平23四複、第84号)を一部転記したものである。



中筋川ダムの防災操作状況
(9月6日 14時00分)



※上記(H:量水標)の値に0.577mを加えた値が標高(m)となります。

中筋川ダムにより河川水位を低減

中筋川ダムの防災操作により、**礮ノ川地点で約51cm水位低減させ、水防団待機水位(3.80m)の超過を回避しました。**中筋川ダムが無かった場合は水防団待機水位(3.80m)を越える3.95mであったと推測されます。

※水防団待機水位とは「水防団が出動のために待機する水位」。

横瀬川ダムにより更に約16cm低減

横瀬川ダムがあった場合は**さらに約16cmの水位低減効果**が期待できたと推測されます。

※本資料の数値等は速報値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。